



認定特定非営利活動法人

青少年の自立を支える会 通信

冬

平成27年

2015年1月

会報 第61号



目次

巻頭「第二の『月の家』を」
報告「始めました『月の家』」
事務局報告
寄付・会費納入者
編集後記



初日の出。はなの家の子どもと古賀志山へいきました。

新年あけましておめでとうございます。この1月1日に「はなの家」はちょうど1周年を迎えました。「月の家」も半年が経ちました。ばたばたしながらも確実に歩んでいます。

第二の「月の家」を

事務局長 福田 雅章

子どもの居場所「月の家」(要保護児童放課後応援事業)がスタートして5ヶ月、市町村レベルで行う社会的養護に関わる福祉(要保護児童とその家庭への支援)がまだまだ緒についたばかりであることを痛感させられるこの頃です。

社会的養護は都道府県が管轄する福祉でした。生活保護、保育、障がい、高齢の福祉は市町村が管轄するのとは大きく異なります。私が統括する児童養護施設はさくら市にあります。県内全域から子どもがやってきます。今日の社会的養護のしくみは、戦後間もなく(昭和22年)制定された児童福祉法に依拠しています。当時、戦災孤児が巷にあふれており、彼らの生活を保障していくということが大きな課題でした。それが今では孤児はいなくなり、現に親と一緒に生活していても、虐待など不適切な養育環境におかれている子どもが入所してくるようになりました。

現在市町村レベルで様々な子育て支援の取組があります。地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、ショートステイ・トワイライトステイ、ファミリーサポートセンター、放課後児童

健全育成事業(学童保育)、こんにちは赤ちゃん事業、養育支援訪問事業などなど。それぞれの施策についての説明は省略しますが、これらは本来地域や親戚があたりまえにもっていた子育て機能を細分化したものに過ぎません。しかし、地域や親戚のように機動性を持って柔軟に対応できるわけではないところに問題があります。例えば

例 2歳の男児がいる母子家庭。母親は21歳。働きながら何とか子どもを育てていた。仕事と育児の両立に疲れてか1週間に一度ほど息抜きで友人と夜飲みに行ってしまう。子どもを寝かしつけてから家を出たのだが、深夜目を覚ました子どもが母親のいないことに気づき大泣き。隣のアパートの住人が警察に連絡。しばらくして帰宅した母親に警察官は「こんなことしたら次は児童相談所ですよ」と。同じことが繰り返され子どもは保護され、施設で3ヶ月預かった。

この例は、社会的孤立状態にある家庭の子育ての実態を端的に示したものです。誰かがちょ

っと子どもを預かるという支援があれば施設に保護されることはありません。現行の子育て支援施策は、社会的孤立の状態にある家庭で突発的に起こる問題には無力なのです。

「月の家」もファミリーホーム「はなの家」も子育て

における地域や親戚の役割を果たしていくことを目的に設立されたものです。「月の家」はすでに飽和状態。人口50万以上の都市にたった1か所では少なすぎます。

始まりました『月の家』

子どもの居場所「月の家」スタッフ 林谷 政子

7月15日、生活用品もあまり整っていない中ではありましたが、ついに、『月の家』の玄関の戸を開けて子どもたちが入ってきました。「こんにちわあ。〇〇です。よろしくお願いします。」と几帳面なあいさつをして家に上がるなり「わあー。」と歓声を上げました。「ねえ、きょう、ここに泊まりたい。」と子どもたち。昭和の香り漂う木の家、平屋の雰囲気子どもたちには魅力的だったのでしょうか。

『月の家』は宇都宮市要支援児童放課後応援事業の委託を受けて青少年の自立を支える会が始めた、お風呂と夕食付の学童保育です。ネグレクト環境で育った子がやがて親になり、再びネグレクト環境で子育てをする・・・この最悪の連鎖をどこかで断ち切り心身ともに健康な子を育て、健康な親になり、再び健康な子を育てるための生活習慣への手助けをしたい、というのが青少年の自立を支える会の願いです。

『月の家』は、一人の子につき週2日だけ利用できます。せめて普通の生活を経験させてあげたいと思うのですが、私たちにできる事は限りがあります。「おかえり」と迎え、いっしょに宿題をしたり遊んだり。手作りの夕食をにぎやかに食べ、お風呂に入って洋服を取り替える位の事です。

「おちついて、座ってごはん食べよう。」「背中洗ってあげる。」の繰り返しの毎日がありました。そして5ヶ月が経ちました。台所からおいしそうなおいがしてくると、「きょうのおかず、なあに？」と聞きに行く子がいたり、味噌汁の味噌をとくお手伝いをする子がいたり。食べ終わると、「あーおいしかった。」と、自然にその言葉が聴かれるようにもなりました。また、お

風呂で立ったままシャワーだけ浴びていた子が今では、いすにすわって石鹸をつけたスポンジで体をこすり湯舟につかって、「あー、いい気持ち。」と言っています。それこそが、ささやかですが、大切なふつうの生活なのだと感じています。心地よい経験をたくさんして大きくなってほしいと思っています。

要支援児童放課後応援事業は、子どもの育ちを支援するとともに、その保護者の子育てを支援するものです。ところで、昔の親は子育てに自信があったのでしょうか。地域の中に一緒に子育てしてくれる人がたくさんいたから安心して子育てできたのでしょうか。身近に祖父母、世話やきのおじちゃん・おばちゃんがたくさんいました。

今、人々は日本全国を移動し、隣の人知らない人で頼みごとをするには気が引けたり、マンションの一室で孤独な子育てになってしまったり。そんな中では、安心して子育てできるはずありません。

先日、初めてのクリスマス会をしました。子どもたちは全員集まり、日替わりで夕食を作ってくださいるボランティアさんたち、一緒に過ごしてくれる学生ボランティアさんたち、サンタの会の皆さんを含め、たくさんの大人たちに囲まれてにぎやかな楽しい会となり、子どもたちが大切にされていると感じました。お父さんお母さんが来てくださった子もいました。来てよかったというお母さん。私たちも話せてよかったです。

夕食ボランティアの皆さんは、どうしたら嫌いな魚や野菜を食べてくれるかと考え工夫してくださっています。

子どもはたくさんの大人たちに、「いい子だね。」と温かく見守られて育ち、やがて自分自分でいいんだと自信をもち自立の道を見つけていくものです。私たちは、地縁・血縁のない中で子育てしている保護者に寄り添い、頼れる世話やきのおじちゃん・おばちゃんとしての存在になりたいと思っています。

『星の家』の子たちも時々来て遊んでくれます。自分が子どもの頃経験できなかったうらやましい環境の中で、彼女たちは何を思っているのでしょうか。とてもやさしく、めんどうを見てくれます。『月の家』の子と遊んだり、大人とのやりとりを見ることで、幼いころの寂しさが少しでも癒され、親になったとき、わが子を温かい気持ちで包むことができると願ってしまいます。

晴れた夕暮れ時、西の空に、限りなく細い上弦の月が輝くその先に、これまたダイヤモンド

のように輝く宵の明星を見ることがあります。

『星の家』の子と『月の家』の子、どちらも幸せになることが、子どもの社会的自立を図り、ひいては貧困の連鎖を断つことになるのだと確信しこの事業を進めていきます。

夕食の風景



事務局報告

今年はやります！チャリティーコンサート

第17回青少年の自立を支える会チャリティーコンサート

～ 魂の響き Japanese & African Soul ～

出演 古田佳子 & ^{フリュージェル}舞琉華瑠 リズムオブネイチャー (アフリカダンス)

2015年3月22日(日) 栃木県総合文化センターメインホール

開演 PM5:00 (開場 PM4:20)

今回は会場が変わります。文化会館ではありません。

今回のコンサートは、民謡日本一の歌手、古田佳子をお迎えしてのコンサートです。アフリカダンスもあり、いったいどんなコンサートになるのか、期待しててください。

古田佳子さんプロフィール

平成9年 コロンビアレコード全国民謡コンクール優勝 第15回正調刈干切唄全国大会優勝

平成10年 日本民謡協会民謡民舞春季全国大会総合優勝 内閣総理大臣賞受賞

平成12年 第13回越名舟唄全国大会優勝 平成13年 第14回秋田船方節全国大会優勝

平成14年 日本民謡協会民謡民舞全国大会内閣総理大臣賞争奪戦優勝 内閣総理大臣賞受賞

平成15年 第16回日本民謡フェスティバル2003 グランプリ受賞 その他多数の受賞歴あり

CRT 栃木放送 毎週土曜日 19:30～20:00 古田佳子「和楽囃子が聞こえる」に出演中

寄付・会費納入者

平成26年7月1日から平成26年12月末まで
敬称略・順位不同

●正会費

阿部充子 天池悦子 天野幸子 五十嵐紀久子 石島浩子 石原栄子 石本真紀 糸井克 伊藤君恵 江連真代 大金幸夫 大島聡 大野由子 大堀美知 冲杉香織 小材嘉子 長田和代 粕田晴之 加藤久美子 加藤祥圭 加藤雅子 金子哲也 金子好夫 川俣恵嗣 北川良江 吉光寺ヒロ子 木村信夫 車田孝夫 毛塚義明 越井みどり 小林幸正 近藤峰明 斎藤幸子 齋藤修一 齋藤洋子 三枝早苗 坂本真紀子 笹澤忠雄 笹沼榮子 佐藤僖芳 佐藤栄 眞田富美子 島野剛 白上桂子 鈴木恭子 鈴木秀男 鈴木征夫 早乙女順子 曾根美穂子 高橋昭彦 高橋文吉 高原恵子 竹内明子 田崎祥江 田村範子 田村嘉應 千野ヤイ 塚本明子 中村郁子 野澤辰郎 橋本伸子 境智江 原田芳子 人見智子 桧山智子 桧山康子 平出景子 平岡真由美 福田富一 福田ミヨ 藤平一恵 星秀彦 前川隼子 増山民江 増山均 安正幸 山崎トヨ 山村正治 渡辺ヨシ子

●賛助会費

青野浩子 青柳美子 阿部美代子 有賀節子 池節子 池田とし江 石川孝子 伊藤孝子 伊藤一 稲田恭子 岩村由紀乃 上野貞雄 枝野啓子 大島幸治 大嶋洋子 太田黒武久 太田芳一 大出昌広 大野育代 大畑玲子 岡田シナ子 岡田敏江 小倉睦美 小山祐二 金子達 加納真理 上岡和江 河内正明 菊地章夫 岸礼美 木滑富美子 久保田博子 古口保 小島寿美代 小平幸二 狐塚良子 小森峯子 斎藤孝子 坂本恭男 櫻井きよ子 櫻井信正 佐々木康子 佐藤文代 佐藤正行 佐藤由紀子 佐藤善光 澤田政孝 芝野晴枝 菅又里美 須黒雪枝 鈴木浩明 高野孝男 高橋真知子 高橋由美 武田陽一 館野晴代 田村隆 槌江徳子 土井有里 東城守 長久保ウタ子 那須恵子 西岡隆 西山智彦 根本智子 野口英子 橋本寿美子 日野奈々子 檜山昌江 平橋文子 福田静江 福田知美 古澤栄子 増田容子 増淵雅子 松浦万里子 松田典子 松本俊江 村上信子 森久美子 山口恵子 湯沢千恵子 吉川泰夫 吉沢佳世 吉澤卓男 吉田依子 和久井隆 鷺尾倭子 渡邊里子 和田均

●寄付者

阿久津キン子 阿久津美千代 社会福祉法人あけの星会 浅野道子 阿部充子 天野幸子 五十嵐紀久子 池節子 池谷正宏 石島浩子 石原栄子 石原けい子 石原敏江 石山佳奈 糸井克 伊藤君恵 稲見孝子 今井忠 井村正治 上田昌弘 浦部延子 枝野啓子

江連真代 海老原清修 大野育代 大畑玲子 岡田みち子 岡久子 小川八枝子 荻原耕三 奥村幸子 小材嘉子 小野崎千鶴子 柿沼恵美子 柿沼恵美子 梶田みどり 粕田晴之 加藤カヨ 加藤久美子 加藤祥圭 加藤雅子 加藤美恵子 鎌田篤子 川田俊彦 川辺晋 菊池里子 北川良江 北島滋 吉光寺ヒロ子 木滑富美子 久保田博子 倉田克己 車田孝夫 小島寿美代 小平光志 児玉恵里 小玉ヒロ子 小林三枝子 小林幸正 小堀栄美子 近藤峰明 斎藤幸子 斎藤孝子 斎藤好江 齋藤義弘 三枝早苗 坂本政子 佐々木康子 笹沼榮子 佐藤貴美子 佐藤クリニック 佐藤マサノ 佐藤正行 佐藤道子 佐野市更生保護女性会 渋井洋子 菅谷直子 杉山君子 須黒雪枝 鈴木恭子 鈴木俊男 曾根美穂子 高木勇 鷹栖律子 高橋昭彦 高橋真知子 高原恵子 竹原豊子 田代英夫 伊達悦子 館野晴代 田中喜一 工房 田中裕子 田村孝夫 田村嘉應 多門孝 千葉たき子 土屋キミ津布楽喜代治 土井有里 東京電力労働組合栃木総支部 栃木少年友の会 株式会社栃木ファミリー 那珂川町小川更生保護女性会 永野弘子 中村郁子 中村和子 中村光子 中村右子 萩原寿夫 橋本美奈子 境智江 東揚吾 人見智子 日原典子 桧山康子 平野敬 福泉水玲 福澤宏文 福田静江 福田知美 藤江泰子 甫坂哲 星紀彦 星秀彦 本郷秀吉 本田紘海 増淵雅子 松永昌子 村山雅子 安正幸 山崎トヨ 山田文子 山田美也子 山本緑 吉田依子 ワールド・ソウル・コーラス宇都宮 和久井隆 渡辺厚子

なお、沢山の方からお米や野菜あるいは日用品などの物品をいただいております。ご芳名は省略させていただきますが感謝しお礼申し上げます。

ありがとうございました！

ご不明な点がございましたら当会までお問い合わせください。

【編集後記】

理事長の星さんがしばらく体調の悪い状況が続いて周囲で心配していたのですが、今は一時と比べると体調も良くなって、普通に子どものケアにあたっていますのでご安心ください。

そろそろ後継についても考えていかななくてはならず、スタッフを募集しています。社会的養護に関心のある方、話を聞きに来ませんか。連絡ください。児童養護施設の仕事についても紹介できます。

【会費納入及びご寄付の郵便振替先について】

加入者名：青少年の自立を支える会 口座番号：00140-3-366972

* 通信欄に会員種別・寄付金及びその金額をご記入ください。また、ご入会の方は“入会”とご記入ください。

会員種別と金額は、正会員：5,000円、賛助A：5,000円/一口、賛助B：1,000円/一口、賛助団体20,000円/一口です。

*** 振込などの手間が要らない「会費等の金融機関引落し」のご利用をお勧めしております！***

発行者/ 認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会

発行日/ 2015年1月16日

発行責任者/ 星 俊彦

編集責任者/ 福田雅章

所在地/320-0037 栃木県宇都宮市清住 1-3-48

電話/ 028-666-6023 FAX/ 028-666-6024

Eメール/ sasaeru@snow.ucatv.ne.jp

HP/ http://www2.ucatv.ne.jp/~sasaeru.snow/